

# Ticket Information

2024年  
12月13日(金)17:00開演

(16:30開場/休憩2回/21:30終演予定)

サントリーホール

[チケット取扱い]

TOKYO SYMPHONYオンラインチケット  
<https://tokyosymphony.jp>

TOKYO SYMPHONYチケットセンター  
044-520-1511 (平日10:00~18:00、土日祝休)

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

チケットぴあ <https://pia.jp/t/tso/>

イープラス <https://eplus.jp/tokyoso/>

ローソンチケット <https://l-tike.com/tso/>

[料金 全席指定/税込] ( )内は東響会員料金

SS席 ¥19,000[¥17,100] S席 ¥16,000[¥14,400]  
A席 ¥13,000[¥11,700] B席 ¥9,000[¥8,100]

[発売日]

東響会員先行	TOKYO SYMPHONY オンラインチケット先行	一般発売
6月17日(月)	6月20日(木)	6月27日(木)

主催:公益財団法人 東京交響楽団  
後援:日本リヒャルト・シュトラウス協会  
在日スイス大使館、プリティッシュ・カウンシル



サントリーホール

〒107-8403 東京都港区赤坂1-13-1  
Tel.03-3505-1001  
<https://www.suntory.co.jp/suntoryhall/>

[チケットご購入にあたっての注意事項] ※車椅子席数に限りがございますので、事前にお問合せください。※12/15ミュージアム公演の点字プログラムをご希望の方は公演の1か月前までにお申し出ください。(ミュージアム電話・カウンターのみでの受付) ※公演詳細・館内設備・サービス等についての最新情報は、公式サイトでご確認ください。※出演者・曲目等の公演内容については変更が生じる場合がございますので、ご了承ください。※演奏中の入退場、写真撮影、録音等は固くお断りいたします。※出演者への花束・プレゼントのお預かりはいたしません。※公演中止の場合を除き、ご予約・ご購入いただきましたチケットのキャンセル・変更はお受けできません。※営利を目的としたチケットの転売は固くお断りいたします。※座席により、字幕が見えづらい場合があります。※未就学のお子様のご入場はご遠慮ください。12/15ミュージアム公演は、託児サービスがあります。(公演日1週間前までに要予約、有料) お問合せ・お申込み▶イベント託児@マザーズ Tel.0120-788-222(月~金 10時~12時、13時~17時)

2024年  
12月15日(日)14:00開演

(13:00開場/休憩2回/18:30終演予定)

ミュージア川崎シンフォニーホール

[チケット取扱い]

ミュージア川崎シンフォニーホール  
※ミュージア友の会会員の先行予約・割引販売は☑印にて受付。

☑友 044-520-0200 (10:00~18:00)  
☑友 チケットカウンター (10:00~19:00)  
☑友 ミュージア Webチケット <http://muza.pia.jp/>  
(24時間、火・水2:30~5:30を除く)

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

イープラス <https://eplus.jp/kawasaki/>

TOKYO SYMPHONYチケットセンター  
044-520-1511 (平日10:00~18:00、土日祝休)※一般発売日から販売開始

[料金 全席指定/税込] ( )内はミュージア友の会会員料金

S席 ¥19,000[¥17,100] A席 ¥16,000[¥14,400]  
B席 ¥13,000[¥11,700] C席 ¥9,000[¥8,100]

U25(小学生~25歳)各席種半額(友の会割引なし/ミュージアとびあのみ販売)

[発売日] ※友の会先行発売初日は電話予約、Webのみで販売(10:00~)。

ミュージア友の会先行	ミュージアWeb先行	一般発売
6月17日(月)	6月20日(木)	6月27日(木)

主催:川崎市、ミュージア川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)  
共催:公益財団法人 東京交響楽団  
後援:日本リヒャルト・シュトラウス協会  
在日スイス大使館、プリティッシュ・カウンシル



ミュージア川崎シンフォニーホール 20 YEARS

〒212-8557 神奈川県川崎市幸区大宮町1310  
Tel.044-520-0100(代) Fax.044-520-0103  
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp>

Der Rosenkavalier

R.シュトラウス

ばらの騎士

Richard Strauss: "Der Rosenkavalier"

(演奏会形式/全3幕/ドイツ語上演/日本語字幕付き)  
Concert style in 3 act, sung in German with Japanese subtitle

ジョナサン・ノット×東京交響楽団×  
ミュージア川崎シンフォニーホール

R.シュトラウス  
コンサートオペラが  
遂に完結!

指揮:ジョナサン・ノット  
東京交響楽団音楽監督

Jonathan Nott, Conductor  
(Music Director, Tokyo Symphony Orchestra)

演出監修:サー・トーマス・アレン

Sir Thomas Allen, Direction

元帥夫人:ミア・パーション

Mia Persson, Marschallin

オクタヴィアン:カトリオーナ・モリソン

Catriona Morison, Octavian

ゾフィー:エルザ・ブノワ

Elsa Benoit, Sophie

オックス男爵:アルベルト・ペーゼンドルフアー

Albert Pesendorfer, Baron Ochs

ファーンニナル:マルクス・アイヒェ

Markus Eiche, Faninal

管弦楽:東京交響楽団

Tokyo Symphony Orchestra

川崎市市制100周年記念事業 ミュージア川崎シンフォニーホール開館20周年記念公演

2024年  
12月13日(金)17:00開演  
サントリーホール  
<https://tokyosymphony.jp>

2024年  
12月15日(日)14:00開演  
ミュージア川崎シンフォニーホール  
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/>



「音楽の友」誌  
コンサート・ベストテン2023  
第1位 シリーズ第2弾  
「エレクトラ」

「音楽の友」誌  
コンサート・ベストテン2022  
第2位 シリーズ第1弾  
「サロメ」

新聞・雑誌等で絶賛の嵐！  
話題のR.シュトラウス コンサートオペラシリーズが、いよいよ完結！

# R.シュトラウス ばらの騎士

Richard Strauss: "Der Rosenkavalier"  
(演奏会形式/全3幕/ドイツ語上演/日本語字幕付き)  
Concert style in 3 act, sung in German with Japanese subtitle

【あらすじ】

第1幕

元帥夫人の居室。ヴェルデンベルク陸軍元帥の妻(元帥夫人)マリー・テレーズは、夫の不在中、若いロフラーノ伯爵、オクタヴィアンと情事に耽っている。そこへやってきたオックス男爵が元帥夫人に面会を求め、オクタヴィアンは慌てて隠れる。男爵の来訪は、間もなく結婚する新興貴族ファーニナルの娘ゾフィーに対し、しきりとして贈る銀のばらをお届けの使者を推薦してほしい、というもの。朝の接見の場がしつらえられるが、元帥夫人は時の移ろいと、老いゆく自分に無常観を味わう。本来の姿で戻ってきたオクタヴィアンにも、やがては別れる定め、と説き伏せ、別れを承知させてしまう。

第2幕

ファーニナル家の広間。ゾフィーは、間もなくやってくる「ばらの騎士」の到着、そして新たな花婿に期待を募らせている。やがてオクタヴィアンが銀のばらを持って到着。ゾフィーとオクタヴィアンは、一瞬で恋に落ちる。続いて父親ファーニナルが、花婿オックス男爵を連れて帰るが、その粗野な振る舞いに、ゾフィーは本気で腹を立ててしまう。オックス男爵の下品な物言いにオクタヴィアンは激怒し、決闘を挑み、剣を抜くが、腕にかすり傷ができただけで男爵は大騒ぎ。男爵には、元帥夫人のもとで働く小間使い「マリアンデル」(変装したオクタヴィアン)からの違い引きの手紙が届く。すっかり上機嫌となった男爵は、お得意のワルツを歌う。

第3幕

場末の居酒屋。ヴァルツァッキは、オックス男爵を驚かすべく、居酒屋を「お化け屋敷」にするべく仕込みを続ける。男爵はマリアンデルを口説こうとするが、そこに亡霊が現れ、驚く男爵。ファーニナルとゾフィーは、男爵の醜態に怒り、婚約は破談だとわめき散らす。元帥夫人に「何も言わずに立ち去るよう」厳命された男爵は、すべてを諦めて帰途に就く。元帥夫人とオクタヴィアンの関係に衝撃を受けたゾフィーを元帥夫人が宥め、自分が身を退くことで若いふたりを結びつける。父親にも祝福され、互いの愛を確かめるふたり。

関連企画

「サロメ」「エレクトラ」で大好評の事前講座を「ばらの騎士」でも開催いたします。

R.シュトラウス  
「ばらの騎士」事前講座

日時:2024年12月2日(月)14:00開始  
会場:ミューザ川崎音楽工房「市民交流室」  
講師:広瀬大介(日本リヒャルト・シュトラウス協会常務理事・事務局長)  
発売日:ミューザ友の会先行10月7日(月) 一般10月9日(水)  
料金:全席自由¥1,200[友の会¥1,000](税込)



※2022年サロメ公演 © N.IKEGAMI

指揮:ジョナサン・ノット(東京交響楽団 音楽監督)

Jonathan Nott, Conductor (Music Director, Tokyo Symphony Orchestra)



© K.Miura/TSO

イギリス生まれ。フランクフルトとウィースバーデンの歌劇場で指揮者としてのキャリアをスタートし、ルツェルン響首席指揮者兼ルツェルン劇場音楽監督、EIC音楽監督、バンベルク響首席指揮者を経て、2017年よりスイス・ロマン管音楽監督も務めている。抜群のプログラミングセンスと古典から現代曲まで幅広いレパートリーで、世界の主要オーケストラ・音楽祭に客演。2010年バンベルク響とのCDが、世界で権威ある仏Midem音楽賞最優秀交響曲・管弦楽作品部門賞受賞。2009年バイエルン文化賞受賞。2016年バンベルク大聖堂にて大司教より功労勲章を授与。東響とともに2020年「ミュージック・ベンクラブ音楽賞(オペラ・オーケストラ部門)」を、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」毎日クラシックナビ「公演ベスト10」において、R.シュトラウス・コンサートのオペラシリーズ《サロメ》、《エレクトラ》をベストコンサートに導く。録音活動も活発で、ウィーン・フィルやベルリン・フィルとの録音のほか、東響とはオクタヴィアレコードより多くのCDをリリースしている。

元帥夫人:ミア・パーション(ソプラノ)

Miah Persson, Marschallin (Soprano)



© Reka Choy

スウェーデン出身。世界中の歌劇場やオーケストラから出演オファーが絶えないカリスマ歌手。新国立劇場、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、スカラ座、英国ロイヤルオペラ、エクサン・プロヴァンス音楽祭等、世界の主要な歌劇場・音楽祭に出演。1998年に「フィガロの結婚」のズザンナ役でオペラ・デビューして以来、モーツァルト作品の主要な役柄を数多く歌い世界的に高く評価されている。近年は、R.シュトラウス作品に取り組んでおり、円熟期にある今、最も知的なR.シュトラウス歌手として確固たる地位を築いている。2018年ノット指揮モーツァルト歌劇「フィガロの結婚」伯爵夫人役で出演しており、その気品溢れる佇まいと抜群の歌唱が絶賛された。

ゾフィー:エルザ・ブノワ(ソプラノ)

Elsa Benoit, Sophie (Soprano)



© James Bellorini

フランス出身。ベルベットのようなしなやかな歌声が絶賛される注目の歌手。バイエルン国立歌劇場のオペラ・スタジオで研修後、同歌劇場のアンサンブルメンバーとして数多くの作品に出演。ブッチーニ「ラ・ボエーム」ムゼッタ、モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」ツェルリーナ、ビゼー「カルメン」(ミカエラ)等で、バリ・ガルニエ宮、グラインドボーン音楽祭、ベルリン・コミッシェ・オーバー等に出演。オーケストラ公演でもネルソンス指揮グェントハウス管をはじめ、ベルリンフィル、ミュンヘンフィル等と共演を重ねている。

ファーニナル:マルクス・アイヒエ(バリトン)

Markus Eiche, Faninal (Baritone)



© Fumiaki-Fujimoto

ドイツ出身。エレガンスを備えた芳醇な歌唱に加え、確かな演技力が高く評価されている。シュトゥットガルトで学び、マンハイム歌劇場でキャリアをスタートしたウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、チューリッヒ歌劇場、フィンランド歌劇等を世界の歌劇場からオファーが絶えない歌手の一人である。ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」クルヴェナール、チャイコフスキー「エフゲニ・オネーギン」題名役等数多くのレパートリーを誇る。「ばらの騎士」ファーニナル役も十八番としており、メトロポリタン歌劇場では同役でデビューし絶賛された。

管弦楽:東京交響楽団

Orchestra: Tokyo Symphony Orchestra



© T.Taira date

1946年東京交響楽団として創立。文部大臣賞をはじめとした日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。川崎市、新潟市と提携し、コンサートやアウトリーチを積極的に展開する他「こども定期演奏会」等の教育プログラムも注目されている。新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。ウィーン楽友協会をはじめ海外公演も数多く行う。ITへの取り組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年12月には史上最多45カメラによる《第九》公演を配信し注目を集めた。音楽監督ジョナサン・ノットとともに日本のオーケストラ界を牽引する存在として高く評価されており、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」では2022年に《サロメ》が第2位、23年には《エレクトラ》が第1位に選出された。

演出監修:サー・トーマス・アレン

Sir Thomas Allen, Direction



© Sussie Ahlburg

イギリス出身。世界の主要な劇場・音楽祭及びオーケストラに出演し、バリトン歌手としての確固とした地位を築いた世界的な歌手。英国ロイヤルオペラでは50以上の役柄を歌っており、2022年には同オペラでのデビュー 50周年を迎えた。2003年からはオペラ演出も手掛けている。2016年ノット指揮モーツァルト歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」(演奏会形式)へ演出監修とドン・アルフォンソ役、2019年ノット指揮シェンベルク「グレの歌」の語りではその圧倒的な存在感と歌声で魅了した。当R.シュトラウス・コンサートオペラシリーズでは第1弾「サロメ」、第2弾「エレクトラ」でも演出監修を務め、極限まで抑えた絶妙な演出が絶賛されている。

オクタヴィアン:カトリオーナ・モリソン(メゾソプラノ)

Catriona Morison, Octavian (Mezzo soprano)



© Jeremy Knowles

スコットランド出身。あたたかく豊かな声で今、ヨーロッパの耳の肥えた聴衆を魅了する注目の歌手。すでにザルツブルク音楽祭、エジハラ国際音楽祭、ハンブルク国立歌劇場等の世界の歌劇場に出演している。レパートリーは幅広く、近年のオペラ作品のレパートリーとしてはR.シュトラウス「ナクソス島のアリアドネ」作曲家、ワーグナー「ラインの黄金」フリッカ、モンテヴェルディ「ボッペアの戴冠」ネローネ等がある。2024年にはネゼセガソ指揮ロッテルダム・フィルで「ワルキューレ」(演奏会形式)に出演する。

オックス男爵:アルベルト・ペーゼンドルフアー(バス)

Albert Pesendorfer, Baron Ochs (Bass)



© Johanna Pesendorfer

オーストリア出身。説得力のある歌声と高い演技力を誇る実力派。アントン・ブルックナー私立大学、ウィーン国立音楽大学で学ぶ。ワーグナー「神々の黄昏」ハーゲンや「トリスタンとイゾルデ」マルケ王等、ワーグナー作品を中心に60以上の役をレパートリーとする。なかでも『薔薇の騎士』オックス男爵は当たり役として世界の歌劇場で歌っており、絶賛されている。新国立劇場、ウィーン国立歌劇場、バイロイト音楽祭、ドレスデン州立歌劇場、シュトゥットガルト歌劇場等で活躍するほかチェコフィル、BBCフィル等オーケストラとの共演も多い。

マリアンネ/帽子屋  
渡邊仁美(ソプラノ)  
Hitomi Watanabe, Marianne & A milliner (Soprano)



元帥夫人家執事/  
料理屋の主人  
高梨英次郎(テノール)  
Eijiro Takamasaki, Marschallin's major-domo & An innkeeper (Tenor)



ヴァルツァッキ  
澤武紀行(テノール)  
Noriyuki Sawabu, Valzacchi (Tenor)



アンニーナ  
中島郁子(メゾソプラノ)  
Ikuho Nakajima, Annina (Mezzo soprano)



警部/公証人  
河野鉄平(バス)  
Teppi Kono, A police commissioner & A notary (Bass)



テノール歌手  
村上公太(テノール)  
Kota Murakami, An italian singer (Tenor)



動物売り/  
ファーニナル家執事  
下村将太(テノール)  
Shota Shimomura, An animal vendor & Faninal's major-domo (Tenor)



合唱団:二期会合唱団

Chorus: Nikiikai Chorus Group

公演特設サイトはこちら

